



まえはようちえんだより

第3学期を終えて(年少組)



令和4年3月24日
小田原市立前羽幼稚園
園長 越川 知香子

第3学期が始まり、感染症対策を十分配慮しながら、子どもたちの主体的な遊びを充実させると同時に保護者の皆様、地域の皆様の思い出に残るような教育活動を進めてきました。『一月は行く、二月は逃げる、三月は去る』とよく言われますが、正月が明けてから今日までがあっという間に過ぎてしまったように思います。3ヶ月の間、合同保育を進めながらも、4歳児と5歳児の成長の過程を十分に考慮しながら、年齢に応じた教育活動を展開してきました。年長児は小学校へ、年少児は下中幼稚園の年長組へ其々の新たな道に大きな期待をもって歩みを進めています。

3人という少人数でスタートした令和3年度でしたが、振り返ってみると、30人にも思えるような存在感と充実感がありました。このように子どもたちが、大きく成長することができたのも、保護者の皆様が、温かく園生活を見守り、支えてくださったおかげと思っています。職員一同心より感謝いたします。

第3学期の思い出



<正月遊び・かるた取り>

おたのしみ会のプレゼントで「かるた」をもらったこともあり、「冬休みに、家族でかるた取りをやったよ!」という声が聞かれました。園でも文字に対する興味が膨らんでいる年長児が読み手になってくれ、年少児なりにイラストのイメージと文字の形からかるた取りを楽しんでいました。遊びを通して**楽しみながら文字に親しむ**ことができました。



<正月遊び・凧揚げ>

年少児は、ビニール袋で凧をつくり、園庭や公園、海岸に行って凧揚げをして遊びました。友達に凧を持ってもらい、「よーいドン!」と走り出すタイミングで凧を離してもらおうと、ビニール袋の中に風が入り込み、高く揚がりました。「風が吹いている日は高く揚がるんだね!」と**身近な事象に関わる中で物の性質や仕組みなどを幼児なりに感じ取り**理解し、風が強く寒い日も凧揚げを楽しむ姿がありました。



<英語で遊ぼう>

A L Tのナナ先生は今回初めての来園でした。ホールに入ると子どもたちは少し緊張した様子が見られましたが、リズムに合わせて英語の単語を発音するナナ先生の楽しそうなジェスチャーに引き込まれるように、一緒に体を動かして楽しむ姿がありました。**楽しみながら英語に触れる**ことができました。



<鬼の面づくり・節分>

節分に関する絵本を読み聞かせしたり、「赤鬼と青鬼のタンゴ」のリズムを楽しんだりするうちに、「自分が、強い鬼になって悪者をやっつける!」「鬼は棒みたいなの持ってた!ポツポツしてるの!」と一人一人が**イメージし、工夫しながら**面や金棒の製作に取り組む姿がありました。「鬼のパンツもつくる!」と鬼になり切って豆まきを楽しみながらお腹の中の鬼を追い払いました。



<ひな人形づくり・ひな祭り会>

桃の節句に向けて、玄関に雌雛と雄雛が飾られると「僕のお雛様は、赤くて可愛い柄にしよう!」「お内裏様は男らしい色にしよう!」など思い思いのイメージする柄を選び「ひな祭り」の歌を口遊みながらひな人形製作を楽しみました。ひな祭り会ではパネルシアター(劇)を見て**行事の意味を知り**楽しい時間を過ごしました。



<ありがとう会>

いろいろなことを教えてくれたり、鬼ごっこやサッカー、リレーでたくさん遊んだりした年長さんへ、**感謝の気持ちを込めて**「ありがとう会」をしました。「年長さんには内緒だね。」と準備を進め、当日はクイズごっこや歌、リズムを一緒に楽しみました。年長さんとのおわかれは淋しいけれど、「また会おうね!」という思いで会の進行を頑張る姿がありました。

地域の皆様に支えられて 本当にありがとうございました



<小田原ばやし向原保存会の皆様 和太鼓発表会>

「小田原ばやし向原保存会」の皆様が、年間を通して和太鼓の指導をしてくださいました。初めのうちは、バチが太鼓の中央に当たらず先生と違った音が出る子がいたり、左右の順番がわからなくなってしまったりする様子もあつたりしましたが、**経験を積み重ねるうちにバチの持ち方や打ち方も除々に上達する姿**が見られるようになりました。和太鼓発表の日には、保護者の前で、立派な姿をみてもらうことができました。また、保存会の皆様の演奏は、とてもすばらしく、この**前羽地域の文化が継承されてきた現れ**であると強く感じました。子どもたちの心の中にも**故郷を愛する気持ち**が培われ、いつまでもいい思い出となったと思います。

<こま回し>

“こま回し名人”の椎野純雄さんに、コマ回しを披露してもらいました。いとも簡単に大山ごまを回す姿を見て、拍手喝采。「自分たちも同じように回したい！」と紐の巻き方や回し方のコツを教えてくださいました。年長児の数人が回せるようになると、年少児も**繰り返しチャレンジする姿**がありました。手を添えてもらい回せるととても喜ぶ姿がありました。



<スクールボランティア足立さんとALT通訳掛橋さん>

幼稚園のために、**いろいろな活動を支援**して下さった足立さんとALT講師の通訳として活躍していただいた掛橋さんに子どもたちがお礼の手紙を作成し渡すことができました。子どもたちから手紙をもらった掛橋さんの目には光る物があり、最後のおわかれを惜しみました。

<絵本の読み聞かせボランティア>

足立さんの紹介で読み聞かせを行っていただきました。季節や内容を考慮し、厳選して下さる絵本と細田さんの聴き心地のよい声がマッチして、短い時間ですが、お話に引き込まれるような素敵な時間でした。絵本はその世界に入り込むことで**想像力が膨らみ、心が豊かになる**と言われてています。

<手袋人形ボランティア>

ダイヤモンドマンションの小池さんが、手袋人形遊びを見せてくれました。子どもたちはとても珍しそうに**集中して見る姿**がありました。小池さんからは「前羽幼稚園の皆様はとってもお話を聞くことが上手ですね。」と嬉しい言葉をいただきました。



<幼稚園関係者委員会の皆様>

幼稚園関係者委員会の皆様（瀧澤様・椎野尚様・椎野純雄様・峯尾様・PTA会長様）には、2回の幼稚園関係者委員会のご出席、「まえはげきょう」観劇、その他七夕の笹竹をいただいたり、コマ回しを教えに来ていただいたりしました。「**お世話になった皆様にお礼をしたい!**」と2回目の関係者委員会の時に、2人でペアになり、「今までありがとうございました!」という言葉添えてメッセージカードを渡しました。とても嬉しそうに受け取って下さり、子どもたちもほっとする姿がありました。委員会の中では、一年間の事業報告をさせていただきました。委員の皆様も69年前の園の様子を思い出して懐かしいように思い出話を楽しむのと同時に、私たち教師と同様に休園になることへ寂しさがひしひしと伝わってきました。今まで本当にありがとうございました。

<浅間神社の由来 北村さん>

日頃から幼稚園に様々な自然物をもってきて、子どもたちに見せてくれる北村さん。日頃のお礼をしたいと家に伺わせてもらいました。お礼のメッセージカードを渡すと、自宅の庭に飾られているペンキアートを見せてくれました。子どもたちの大好きなキャラクターや素敵な石アートをキラキラしたい目で見つめていました。また、隣にある**浅間神社の由来**も教えてくださいました。その後の遊びが大いに発展していく姿がありました。いつも温かく子どもたちを見守って下さったことに感謝します。

進級にむけて



<おやすみ調べ当番>

「失礼します。」「僕はすみれ組の〇〇です。」「今日のお休みは、1人です。〇〇ちゃんです。」「風邪でおやすみです。」と『おやすみ調べ当番』の仕事を年長さんから教えてもらい、少し恥ずかしそうにしながらも年長児と一緒に言えるようになってきました。年長児から「おやすみ調べに行くと園長先生が“なぞなぞ”を出してくれるんだよ！」という楽しそうな情報に期待を膨らませてやってくる姿があり、「僕ね、“なぞなぞ”得意なんだ！」と自慢げに話し、張り切って答えようとする微笑ましい姿がありました。当番の一連の流れが終わると「失礼しました。」と出入口で一礼をして出ていく年長児の真似をして礼をする年少児の姿を見て、一年間の**積み重ね**と**異年齢保育からの学びの大切さ**、そして**自立心・道徳性・規範意識の芽生え**を感じました。



<年長さんへコサージュ作り>

「優しくいろいろなことを教えてくれたり一緒に遊んでくれたりした大好きな年長さんに、お礼のプレゼントをしたい！」と卒園式に胸につけるコサージュ製作を行いました。今年は、年少親子で思い出づくりも兼ねて一緒に製作を楽しんでもらいました。親子の仲睦まじい会話や心温まる姿を見ることができたことを嬉しく思いました。一つ一つ丁寧にコサージュをつくっていただき、本当にありがとうございました。すみれ組さんが家の人と一緒に**心を込めてつくったコサージュ**を「**今までありがとう♡**」の**感謝の言葉**と一緒に渡すことができました。



<おたのしみ給食>

年少さんから「僕たちも園長先生と一緒に給食を食べたい！」というリクエストがありました。前羽幼稚園の職員室ともおわかれしてしまうことを寂しく思ったようです。距離を保ち、パーティション等で感染対策をしながら、特別に『おたのしみ給食』をしました。入園当初と比べて、食器の持ち方や箸の使い方など、本当に上手になったと感心させられました。食事中は黙食も守れ、食後は自由画描きやじゃんけんゲームをして楽しい時間を過ごしました。素敵な思い出ができました。

<一人一袋 ジャガイモ栽培プロジェクト☆スタート(腐葉土の袋で栽培開始)>

- ① 腐葉土の袋に割りばしで水透しの穴を開ける。



- ② 穴を掘って種イモを植える。上から土をかける。



- ③ 一人一人名前を貼り自分のものができるようにする。



- ④ 水やりをして出来上がり



★大切に育てていってくださいね。



保護者の皆様に支えられて

【本部役員】
石塚さん 野原さん 飯島さん
(会計) (会長) (副会長)



会員の皆様 ご協力ありがとうございました。

【クラス委員】
四戸さん 持田さん



かもめ発行のご協力ありがとうございました。

かもめ発行
第117号

幼稚園のPTA 広報誌



69年間♡記念パネル



ふれあい環境美化作業



お～！

みんなで、幼稚園を
ピカピカにしよう！



お父さん方には日頃できないエアコン内部の掃除をやっていた
できました。



窓ガラスもピカピカ
になりました

おわかれ会



おわかれ会 楽しかったね！

いつも送り迎えを
してくれてありが
とう！



「この赤ちゃんはだ
れでしょう？」可愛
い赤ちゃんがたくさん
いますよ！

先生たちから
歌のプレゼント



保護者の皆様、これまで前羽幼稚園の教育にご理解とご協力をいただきありがとうございました。

幼稚園は69年間の長い歴史の中で、大変多くの方々にお力を貸していただき、教育活動に取り組んできました。今まで幼稚園の子どもたちのためにお力添えくださった皆様に心より感謝申し上げます。温かい前羽地域の皆様に見守られて過ごした前羽幼稚園のことをいつまでもいい思い出として忘れずにいてください。

下中幼稚園は前羽幼稚園以上に素敵な幼稚園です。自信をもって送り出したいと思います。

職員一同、お子様のこれからの益々の成長とご家族の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りしています。